

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	保健医療福祉分野の公開鍵基盤 (HPKI) 普及・啓発事業			担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	平成30年度	担当課室	研究開発振興課 医療技術情報推進室		室長:片岡 穰	
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-3-1 医療情報化の体制整備の普及を推進すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	平成21年4月:デジタル新時代に向けた新たな戦略~三カ年緊急プラン~ 平成21年7月:i-japan戦略2015 平成22年5月:新たな情報通信技術戦略 平成25年6月:健康・医療戦略 平成25年6月:世界最先端IT国家創造宣言			
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ネットワークを介して診療情報のやりとりを行う場合のなりすましや改ざんといったリスクを回避するため、保健医療福祉分野認証基盤(HPKI)の普及を目指す。今後、処方箋の電子化が進む中で、医療従事者であることを電子的に証明する必要性が一層高まるものと思われる。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	医師等の個人が電子署名を活用できるよう、公的資格等の確認機能を有する保健医療福祉分野における公開鍵基盤(HPKI)を普及・啓発するために必要な経費について財政支援を行う。							
実施方法	補助							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	63	28	28		
		前年度から繰越し	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-		
		計	0	63	28	28	0	
	執行額	-	60	28				
	執行率(%)	-	95%	100%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 30年度	
	平成30年度までにHPKIカードの発行枚数を1,500枚まで向上させる	HPKIカード発行枚数	成果実績	枚	-	133	990	
			目標値	枚	-	1	133	1,500
			達成度	%	-	13,300%	744.4%	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	説明会開催回数	活動実績	回	-	3	3		
		当初見込み	回	-	3	3	3	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	単位当たりコスト=X/Y Y:予算額 Y:説明会開催回数	単位当たりコスト	百万円	-	21	9	9	
		計算式	X/Y	-	62,602/3	28,081/3	28,080/3	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	地域診療情報連携推進費補助金	28						
	計	28	0					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	医療情報は患者の機微な個人情報を取り扱うため、情報を取り扱う個人を識別することが重要であり、国民や社会のニーズを的確に反映していると考えられる。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	情報を取り扱う個人を識別することは一地方に限定するのではなく、全国で統一的に進めるべきであり、内容が機微に属することから国により実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	医療分野においては患者の個人情報保護の声が大変大きく、医療情報化の体制整備を推進する上で優先度が高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		△	事業内容に応じて公募を行うことで競争性を確保している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	必要最低限の経費のみを予算計上している。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	事業の実施に必要な最低限の経費しか計上していないため単位当たりコストの削減は困難であるが、その上で必要があれば可能な限りの削減を実施。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	必要性を勘案し、合理的なものについて支出している。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	必要最低限の経費のみを予算計上している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	前年度と同程度の実績を見込んでいたが、目標を大きく上回る枚数のHPKIカードを発行した。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	HPKIの普及自体は国が直接実施すべきものではないため、民間団体に補助を行う現在の方法以外は考えにくい。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みどおりの回数、説明会を開催した。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	事業報告書を翌年度以降の政策に活用している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
	-	-	-		
点検・改善結果	点検結果	平成26年度はHPKIカードを990枚発行しており、133枚だった25年度と比べて大幅に増加している。今後も継続して取り組んでいくこととしている。			
	改善の方向性	事業者から提出された事業報告書により、事業の効果や執行実態を把握分析してきた。25年度から26年度にかけてHPKIカードの発行枚数が大幅に増加しているが、これはカードの発行体制が整備されてきたことによると思われる。今後も適切に対処していきたい。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	新25-006	平成26年度	70		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
28百万円

医師等の個人が電子署名を活用できるよう、公的資格等の確認機能を有する保健医療福祉分野における公開鍵基盤(HPKI)の普及・啓発及び体制整備



【公募・補助】

A.一般財団法人等(2)
28百万円

HPKIの普及・啓発及び体制整備の事業(署名用・認証用)



【随意契約】

B.ジャパンネット株式会社
9百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.一般財団法人医療情報システム開発センター			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	委託費		9			
	人件費	人件費	7			
	旅費	説明会等旅費	1			
	印刷製本費	パンフレット、セミナー資料	1			
	その他	諸謝金、消耗品費等	1			
	計		19	計		0
	B.ジャパンネット株式会社			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	署名用認証局SHA2化構築費等	9			
	計		9	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0	
D.			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人医療情報システム開発センター	HPKIの普及・啓発及び体制整備の事業(署名用)	19	-	-
2	公益社団法人日本医師会	HPKIの普及・啓発及び体制整備の事業(署名用・認証用)	9	-	-

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ジャパンネット株式会社	署名用認証局SHA2化構築費等	9	随意契約	-